

みずほCustomer Desk Report 2017/12/18号(As of 2017/12/15)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	112.40
TKY 9:00AM	112.40	1.1774	132.34	GBP/USD	1.3433
SYD-NY High	112.74	1.1812	132.73	AUD/USD	0.7665
SYD-NY Low	112.04	1.1749	132.06		
NY 5:00 PM	112.62	1.1750	132.32		
NY DOW	24,651.74	143.08	日本2年債	-0.1500	1.00bp
NASDAQ	6,936.58	80.06	日本10年債	0.0400	▲1.00bp
S&P	2,675.81	23.80	米国2年債	1.8379	2.48bp
日経平均	22,553.22	▲141.23	米国5年債	2.1513	1.37bp
TOPIX	1,793.47	▲14.67	米国10年債	2.3503	0.19bp
シカゴ日経先物	22,730	125	独10年債	0.2990	▲1.05bp
ロンドンFT	7,490.57	42.45	英10年債	1.1500	▲2.30bp
DAX	13,103.56	35.48	豪10年債	2.5195	▲2.15bp
ハンセン指数	28,848.11	▲318.27	USDJPY 1M Vol	6.40	▲0.04%
上海総合	3,266.14	▲26.30	USDJPY 3M Vol	7.51	0.07%
NY金	1,257.50	0.40	USDJPY 6M Vol	8.06	0.04%
WTI	57.30	0.26	USDJPY 1M 25RR	-0.58	Yen Call Over
CRB指数	184.52	0.31	EURJPY 3M Vol	7.78	0.00%
ドルインデックス	93.93	0.44	EURJPY 6M Vol	8.16	0.03%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
12月15日	8:50	日	日銀短観	第4Q -
	22:30	米	ニューヨーク連銀製造業景気指数	12月 18.0 18.7
	23:15	米	鉱工業生産(前月比)	11月 0.2% 0.3%

【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
12月18日	8:50	日	貿易収支	11月 -¥40.0B ¥284.6B
	19:00	欧	GPI(前月比/前年比)・確報	11月 0.1%/1.5% 0.1%/1.5%

東京
 オセアニア時間にこの日の高値となる112.40をつけたドル円は前日からの流れが続く中で上値重く推移。朝方に発表された日銀短観では、企業販売価格DIが2008年9月調査以来、9年ぶりにプラスへと転じる内容となり自社の主要製商品価格が上昇していると回答した企業の割合が多かったことが示されたものの、市場の反応は限定的となり東京時間のドル円は112.40レベルでオープン。前日比マイナス圏で寄り付いた日経平均株価がオープンから下げ幅を一段と拡大させる中でドル円も連れる展開に東京時間安値となる112.12まで下落。午後にかけて、「日銀が市場との対話を修正、片岡委員の追加緩和主張に対応」との関係者からの話が伝わるとドル円は一時112.38付近まで急騰。その後はややレベルを戻しての推移となる中で日経平均株価が一時前日比プラス圏まで反発する展開となりドル円も再び112.38付近まで上昇するも、朝方の高値をブレイクするに至らず日経平均株価も引けにかけて上げ幅を戻す展開となり、ドル円も結局112.15付近までレベルを下げ112.21レベルで海外へ渡った。(東京15:30)

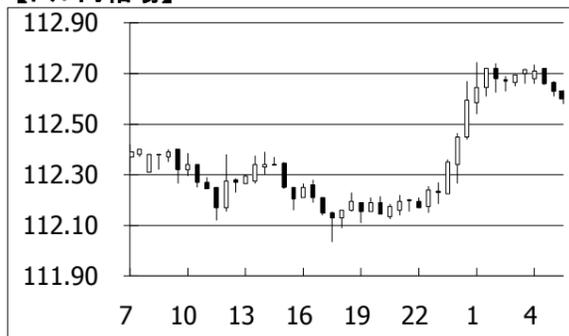
ロンドン
 ロンドン市場ドル円は軟調推移した。112.21レベルでオープン。13日のFOMCで来年以降の利上げペースが引き続き緩やかなものになるとの観測や、14日のドラギECB総裁が金融緩和は依然必要との認識を示したことを背景にユーロ円が売られたこと、そして前日の米共和党上院議員2名が米税制改革法案に賛成しない意向との報道に年内法案成立への不安が一部で広まったこと等からドル円は2週間ぶりの安値となる112.04まで下落。その後は112円台前半で横ばい推移となり、結局112.18レベルでNYに渡った。ロンドンでも下落した。1.3443レベルでオープン。欧州連合は本日、英国離脱交渉について「第2段階」に入るための指針を採択したが既に締結済みであったことや今後の通商交渉の難航が予想されること等を背景に1.3364まで下落。1.3370レベルでニューヨークへ渡った。(00531 444 1789 ロンドン・フリー西海)

ニューヨーク
 日銀片岡委員の追加緩和主張に対する記事のヘッドラインを受け、追加緩和期待が強まり一旦円売りが強まったものの、実際は追加緩和を示唆する内容ではなかったことから円が買い戻され、ドル円は112.18レベルでNYオープン。朝方は米12月ニューヨーク連銀製造業景気指数が予想をやや下回ったものの、ドル円の反応は限定的となる。続いて発表された米11月鉱工業生産は予想を下回る一方で前回分が上方修正されたことから強弱混在の内容となり、ドル円の反応は限定的となる。その後は共和会上院議員のルビオ氏が減税法案を支持とのヘッドラインが流れ、ドル買いが優勢となり112.74まで上昇する。その後ルビオ議員は未だに支持していないとのヘッドラインが流れたことからドル円は下押しするものの、下院歳入委員長が財政改革法案の最終報告をこの日午後5時半に提出との報道や、上院案に反対票を投じたコーカ共和党議員が賛成票を投じる意向とのヘッドラインもあり、ルビオ議員も賛成との報道にドル円は112.70付近での推移が続く。終盤にかけては、週末を控えた調整の動きが続き、結局112.62レベルでクロスした。一方、ユーロドルは独社会民主党(SPD)指導部がメルケル首相と連立樹立に向けた交渉を開始との話から、海外市場で1.1812まで戻し、1.1805レベルでNYオープン。午前中は米減税法案がスムーズに決まるとの期待からドル買いが強まり、ユーロドルは1.1761まで下落する。午後米税制改革に対する期待からドル買いが継続し、一時1.1749を付け、1.1750レベルでクロスした。(NY井上)

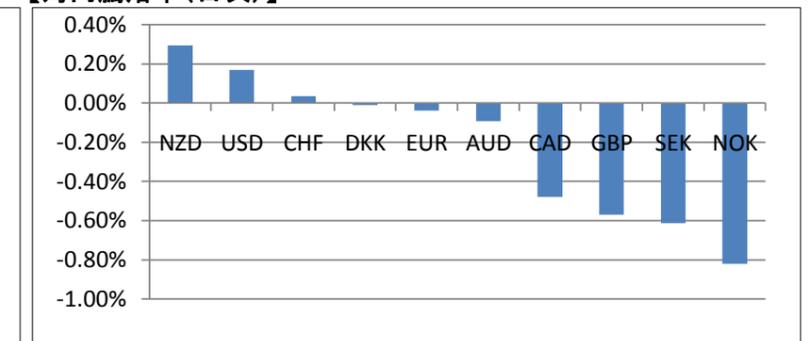
当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当: 藤巻・鶴田

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	112.00-113.50	1.1700-1.1800	132.00-133.00

【マーケット・インプレッション】

昨日の海外時間のドル円は、米ニューヨーク連銀指数や米鉱工業生産指数が市場予想を小幅に下回るも市場の反応は限定的。その後は、コーカ共和党上院議員が税制改革法案に賛成票を投じる意向であるとの報道等を米税制改革法案への期待感の高まりから、株に買いが入る中、ドル円は上昇し、そのままクローズ。本日については、欧米で休みを取る参加者が多く閑散相場が想定されるものの、税制改革期待の継続等を背景にした堅調な推移を想定する。